

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 吉兵衛どんの里作成日: 平成 30 年 10 月 2 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議のメンバーが固定化して、内容も画一化しているので、新しい参加委員を増員し、議題や内容を検討し、ホーム、家族、地域、行政が協働して、ホームの質の向上と地域に向けての発信力を高め、この会議を窓口として、地域福祉の拠点を目指していく。	参加委員を複数の民生委員や地域で活動している有識者、知見者等に参加要請し、意見や要望、地域の問題等を話し合い、解決に向けて取り組み、ホームの繁栄だけではなく、地域貢献にも取り組んで行く。	12ヶ月
2	13	職員を育てる取り組み	ベテラン職員と、新人職員の介護技術の差があるので、内部、外部の研修会を通じて、職員の介護知識や技術の向上に取り組み、職員の意欲や意識の高揚を目指していく。	外部の研修会に習熟度に合わせて職員を派遣し、知識を習得し、社会勉強して意識の高揚を図り、職員の意欲に繋げていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。